

表2 学習・教育到達目標とその評価方法及び評価基準

学習・教育到達目標の大項目	学習・教育到達目標の小項目	関連する基準1の(a)-(i)の項目	関連する基準1の(a)-(i)の対応	評価方法および評価基準
(A) 総合力: 自然環境, 人類の文化的・経済的活動と建設技術との関連を常に意識して, 多面的に物事を考える能力, 人々の幸福と福祉について総合的に考える能力と素養を身につける。		(a) (b) (e)	◎ ◎ ○	各学生に対して集計された(A)に対する達成度評価学習時間が, 以下に示す達成度評価基準時間を超えていることによって評価した。 達成度評価基準時間 1年入学:300時間, 3年編入:150時間 【対応科目】一般工学概論, 建設工学テーマセミナーⅠ, 建設工学テーマセミナーⅡ, 建設デザイン論, 防災工学, 地球環境学Ⅰ, 都市の認識, 都市の計画, 建設マネジメント, 建設工学テーマセミナーⅢ, 集中セミナー, 集中ラボ演習
(B) 説明力: 理論的な記述力, 口頭発表能力, コミュニケーション能力, 及び国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける。		(f) (i)	◎ ○	各学生に対して集計された(B)に対する達成度評価学習時間が, 以下に示す達成度評価基準時間を超えていることによって評価した。 達成度評価基準時間 1年入学:350時間, 3年編入:180時間 【対応科目】建設工学演習, 建設工学テーマセミナーⅡ, 実務訓練(課題研究), 建設工学論文演習, 建設工学テーマセミナーⅢ, 集中セミナー, 集中ラボ演習
(C) 基礎力: 建設技術のための基礎的な数学と物理等の自然科学の素養, 及び情報技術に関する知識を習得し建設技術へ応用できる能力を身につける。		(c)	◎	各学生に対して集計された(C)に対する達成度評価学習時間が, 以下に示す達成度評価基準時間を超えていることによって評価した。 達成度評価基準時間 1年入学:400時間, 3年編入:120時間 【対応科目】数学ⅠA, 数学演習Ⅰ, 数学ⅠB, 物理実験及び演習Ⅰ, 化学実験及び演習Ⅰ, 数学ⅡA, 数学演習Ⅱ, 数学ⅡB, 工業基礎数学Ⅰ, 工業基礎数学Ⅱ, 確率統計, 物理学Ⅰ, 物理学Ⅱ, 物理実験及び演習Ⅱ, 化学実験及び演習Ⅱ, 化学Ⅰ, 化学Ⅱ, 生物学Ⅰ, 図学, 環境処理基礎, 情報処理概論, 基礎電磁気学, 波動・振動, 生物実験及び演習, 建設設計製図Ⅱ, 建設工学実験Ⅱ, 環境・建設計算機実習Ⅰ, 建設工学のための数学Ⅰ, 環境・建設計算機実習Ⅱ, 建設工学のための数学Ⅱ, 振動と波動, 線形代数, 応用統計学, 解析学要論
(D) 専門力: 建設工学の主要専門分野の知識を習得し, 問題解決に応用できる能力を身につける。		(d)	◎	各学生に対して集計された(D)に対する達成度評価学習時間が, 以下に示す達成度評価基準時間を超えていることによって評価した。 達成度評価基準時間 1年入学:300時間, 3年編入:200時間 【対応科目】測量学Ⅰ, 土質力学, 水理学Ⅰ, 応用力学Ⅰ, 応用力学Ⅱ, 建設材料学基礎, 防災工学, 地球環境学Ⅰ, 建設工学のための数学Ⅰ, 連続体の力学の基礎, 建設工学のための数学Ⅱ, 振動と波動, 構造解析学Ⅰ, 水理学Ⅱ, 地盤工学Ⅰ, 都市の認識, 交通計画学, 鋼構造学, 応用水理学, 地盤工学Ⅱ, 交通工学, コンクリート構造の力学, 都市の計画, リモートセンシング工学Ⅰ, 構造解析学Ⅱ, 海岸海洋工学, 地盤動力学, 土土地質学, 道路工学, コンクリート構造物のライフサイクルマネジメント, 地球システム科学, 環境衛生工学
(E) 学習力: 大学院での高度な専門技術を習得するための素養, 及び新しい技術科学分野を開拓する創造力, 生涯自己学習能力を身につける。		(f) (g) (h)	○ ◎ ◎ ○	各学生に対して集計された(E)に対する達成度評価学習時間が, 以下に示す達成度評価基準時間を超えていることによって評価した。 達成度評価基準時間 1年入学:200時間, 3年編入:120時間 【対応科目】物理実験及び演習Ⅰ, 化学実験及び演習Ⅰ, 環境・建設設計製図Ⅰ, 物理実験及び演習Ⅱ, 化学実験及び演習Ⅱ, 建設工学テーマセミナーⅠ, 応用力学演習Ⅰ, 応用力学演習Ⅱ, 生物実験及び演習, 建設設計製図Ⅱ, 建設工学演習, 建設工学テーマセミナーⅡ, 実務訓練(課題研究), 建設デザイン論, 構造解析学Ⅱ, 海岸海洋工学, 地盤動力学, 土土地質学, 道路工学, コンクリート構造物のライフサイクルマネジメント, 地球システム科学, 環境衛生工学, 建設工学テーマセミナーⅢ, 集中セミナー, 集中ラボ演習
(F) 解決力: 土木・建設工学の専門的な知識・技術を結集して課題を探索し, 組み立て, 工学的に考察するとともに, チームを編成するなどして解決し, 説明する能力を身につける。		(a) (b) (d) (e) (g) (h) (i)	○ ○ ○ ◎ ◎ ◎ ◎	各学生に対して集計された(F)に対する達成度評価学習時間が, 以下に示す達成度評価基準時間を超えていることによって評価した。 達成度評価基準時間 1年入学:250時間, 3年編入:120時間 【対応科目】物理実験及び演習Ⅰ, 化学実験及び演習Ⅰ, 測量学実習Ⅰ, 環境・建設設計製図Ⅰ, 建設工学実験Ⅰ, 物理実験及び演習Ⅱ, 化学実験及び演習Ⅱ, 建設工学テーマセミナーⅠ, 生物実験及び演習, 建設設計製図Ⅱ, 建設工学実験Ⅱ, 建設工学演習, 建設工学テーマセミナーⅡ, 実務訓練(課題研究), 建設デザイン論, 防災工学, 建設マネジメント, 測量学実習Ⅱ, 建設工学テーマセミナーⅢ, 集中セミナー, 集中ラボ演習

達成度評価基準時間は, 学習教育到達目標ごとに1年入学生, 3年編入生を分けて設定されている。達成度評価学習時間は学生一人ひとりに対して学習教育目標ごとに集計したものであり, その値が基準時間を超過していれば学習教育到達目標を達成したものと判断している。